

# 作業療法室の紹介

---



一般財団法人黎明郷

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター

# 目次

---

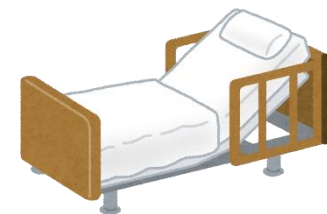
- 当院の作業療法について
- 作業療法室の教育体制
- スタッフの声
- 室長から

# 当院の作業療法について①

## ➤ 脳卒中急性期の作業療法

医師の指示のもと、入院初日からADLの再獲得に向けて介入しています。脳卒中急性期のリスク管理の知識が必要ですので、回復期病棟で経験を積んだ作業療法士を配置し、患者様やご家族の不安が少しでも軽減できるように努めています。

また、回復期病棟でリハビリテーションを継続される患者様の場合、環境変化が患者様の自立を妨げないよう回復期病棟のスタッフと連携しています。



## ➤ 脳卒中回復期の作業療法

ICFの『参加・活動』の拡大を目指して、自分でできることが増やせるよう作業療法を計画・実行しています。患者様に合った病室の環境設定はもちろん、自宅など退院先の環境を視野に入れた動作練習を行います。必要に応じて他職種と協力しながら家族へ介助のアドバイスをを行い、安心して退院を迎えられるように努めています。



# 当院の作業療法について②

## ➤ 訪問・外来リハビリテーション

退院後にリハビリテーションが必要な方に対し、医師の指示のもと訪問や外来リハビリテーションを実施しています。患者様が退院前する前に入院中の担当リハスタッフと連携し、安心して在宅生活が送れるよう支援しています。

## ➤ 心臓リハビリテーション

『心臓リハビリテーション指導士』として、作業療法士1名が在籍しています。当院の“心臓リハビリテーションチーム”の一員として多職種と一緒に活動しています。



## ➤ 麻痺の改善に向けた治療

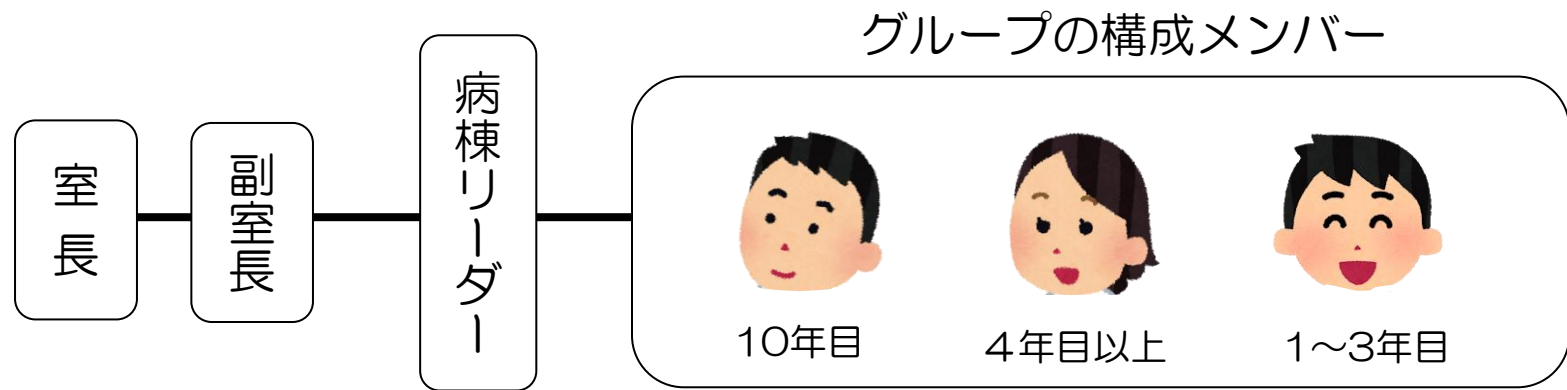
上肢の麻痺に対しては、促通反復療法（川平法）、電気刺激療法、CI療法、上肢用ロボット型運動訓練装置（ReoGo-J）などを取り入れています。

スタッフの技術の維持・向上のため、計画的に他施設での研修や院内での実技練習に取り組んでいます。

# 作業療法室の教育体制①

作業療法室では室長・副室長が全体の指揮を執り、各病棟のリーダーと連携した教育体制をとっています。

## ★回復期病棟の一例★

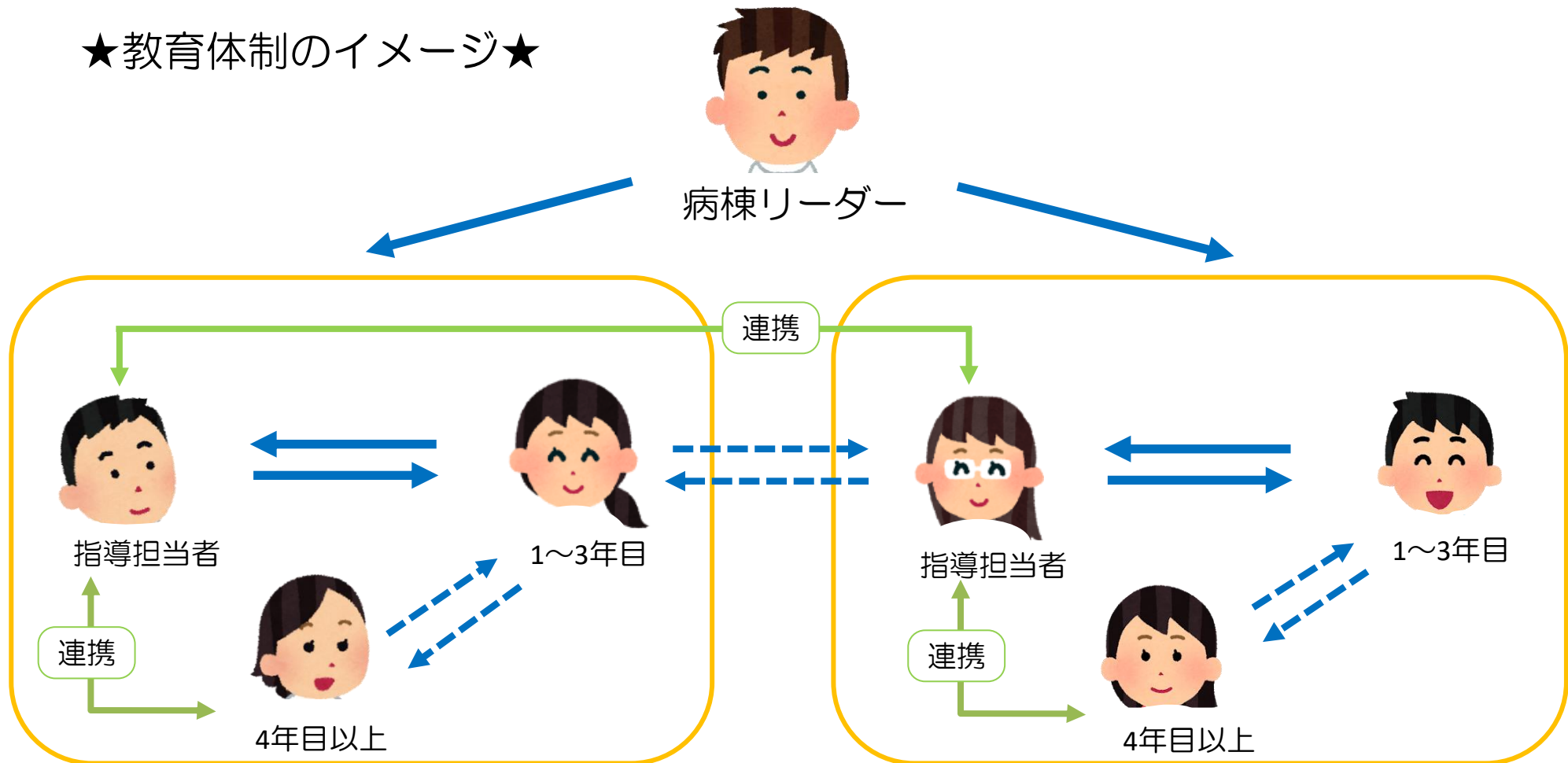


回復期病棟では病棟リーダーの指揮のもと、グループが5つあります。グループの構成は、新人を合わせて3~4名の配置が基本です。人員配置は理学療法室と連携して決定しています。

# 作業療法室の教育体制②

指導担当者が1～3年目の教育を担当しますが、  
4年目以上のスタッフとも連携して教育をサポートします。

## ★教育体制のイメージ★



# 作業療法室の教育体制③

自己評価表を使用して作業療法士として必要な技術を確認しています。  
毎年個人目標を掲げ、自己研鑽のきっかけづくりと環境の支援をしています。

## ★評価項目の一例★

- ＜ステップ1＞ 社会人・職員・OTとして望ましい態度や行動をとることができる
- ＜ステップ2＞ 基本的な検査手技ができる（対象者の全体像を把握できる）
- ＜ステップ3＞ 対象者の全体像をまとめ、作業療法計画を立案・実施できる
- ＜ステップ4＞ カンファレンスで適切な報告ができる（予後予測を含む）
- ＜ステップ5＞ 退院に向けた準備ができる（家族指導・書類など）  
組織の管理・運営について理解することができる
- ＜ステップ6＞ 指導ができる（後輩・学生）
- ＜ステップ7＞ 自分の考えをまとめて発表できる（学会・部署内の研修会など）

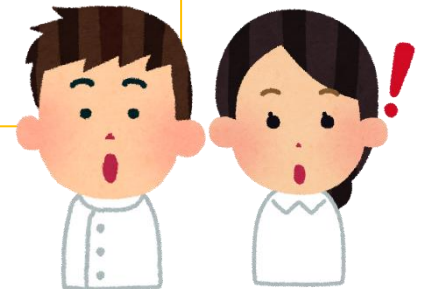


上記のステップごとに下位の評価項目があり、自己評価・他者評価を行っています。

# 作業療法室の教育体制④

作業療法室では、以下の勉強会等を企画し、スタッフの知識や技術の標準化に努めています。

1. 症例検討会
2. 生活行為向上マネジメント勉強会
3. 評価および訓練技術の獲得に向けた練習
4. 各種学会での演題発表者による予演会
5. 各種研修会・学会参加者からの伝達講習会
6. その他





# 作業療法室の資格取得への取り組み

現在、当院の作業療法士が取得または取得予定の資格は以下の通りです。

患者様へ質の高いリハビリテーションを提供するため、資格取得に向けたスタッフの意欲を支援しています。

心臓リハビリテーション指導士、NST 専門療法士、  
回復期認定セラピストマネジャー、ケアマネジャー、  
日本作業療法士協会 認定作業療法士



# 職員の声①

## ➤ 作業療法士 3年目

先輩方が多いため、わからないことや不安に思うことがあればすぐに相談でき、指導も手厚いため、安心して働くことができています。

作業療法を提供し、共有した目標を達成して退院されていく患者様の姿や「頑張ってたよかった」という声を聞くと、とてもやりがいのある仕事だと感じます。

仕事にも少しずつ慣れてきたので、今後は症例発表や勉強会にも積極的に参加し、入って来る後輩にも自分が学んだことを伝えていければと思っています。



## 職員の声②

### ➤ 作業療法士 7年目

作業療法士は対象者の価値観や生きがいをもとに様々な生活行為について分析し、治療プログラムを考え、対象者をより豊かな生活に導くことが出来るやりがいのある職種です。さらに、他職種との連携を密に取るようにし、より質の高いチームアプローチができるように頑張っています。

また、当院では学会発表や大学院に通いながら研究活動を進めるなど臨床以外の活動も活発に行っている人が多いです。

ぜひ一緒に臨床や研究活動に取り組みましょう。



## 職員の声③

### ➤ 作業療法士 15年目

急性期から回復期、訪問や外来リハビリを通じて患者様と一貫して関わり、その人らしい生活に向けて支援させていただくことにOTとしてのやりがいを感じます。

また、院外の研修会や学会の参加機会もあり、私は研修修了後にスタッフに技術を伝達する役割を担当しています。後輩指導にも力を入れていきますので、OTの知識や技術を研鑽したい人はぜひ一緒にスキルアップを目指しましょう。



# “より質の高い作業療法”の提供を目指して

当院には70名以上の作業療法士が在籍しており、互いに切磋琢磨しながら日々の臨床に取り組んでいます。

当院では患者さんの個々のニーズに合わせた作業療法が提供できるよう、卒前教育を踏まえた卒後教育に力を入れています。また、訓練手法や訓練機器を有効に使用できるように技術の向上に努めています。

他のリハスタッフはもちろん多職種と密に関わりながら、作業療法士としてのスキルを磨ける環境です。



当院で私たちと一緒に働きませんか？

元気で意欲的な方を募集しています！ 作業療法室長 齋藤 信一